

ひとあい えどがわ

No.29

発行日 / 2015.7.1
創刊日 / 2007.4.10

EDOGAWA
SINCE 2004
SUGOU-JINSEI-DAIGAKU
<http://www.sougou-jinsei-daigaku.net/>

あなたも、アナタ也大歓迎!!『人生大学Q&A』特集



古川親水公園[写真：介護10期 佐々木]

江戸川総合人生大学 新入生募集!

今年10月から始まる第12期生を募集しています。
共に学び、楽しさ・発見・驚きを実感しませんか?

【申込資格】 区内在住・在勤・在学の方

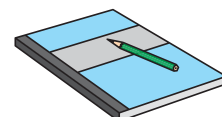
【修学期間】 2年間

【授業料】 年間3万円

【申し込み】 区役所・各事務所・図書館・コミュニティ会館などにある「入学案内」に添付されている入学願書に必要事項をご記入の上、江戸川総合人生大学（〒133-0061 江戸川区篠崎町7-20-19）へ郵送または持参してください。

【問合せ】 03-3676-9075

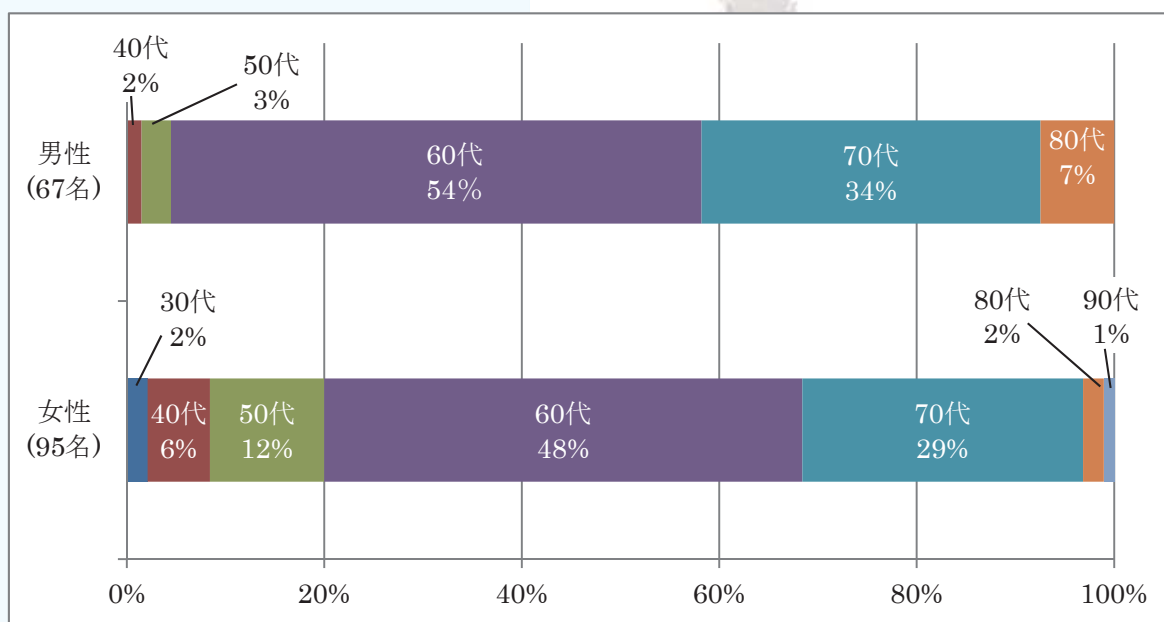
学科名	授業実施曜日、時間
江戸川まちづくり学科	金曜日 10:00～12:00
国際コミュニティ学科	水曜日 10:00～12:00
子ども・子育て応援学科	火曜日 10:00～12:00
介護・福祉学科	火曜日 14:00～16:00



人生大学 地域のために自分の力を活かしてみたい。江戸川総合人生大学はそんな方を応援するために江戸川区が開設した大学です。（＊学校教育法で定める正規の大学ではありません。）

Q. どんな年齢の人が入学していますか？

A. 現在の在校生を対象とした場合、以下のグラフのようになり、60歳以上の方が80%以上を占めていることがわかります。女性は比較的幅広い年齢の方が入学しています。



Q. 年齢制限はありますか？

A. 制限はありません。上記のグラフからもわかるように、どなたでも入学可能です。

Q. 入学するにあたって特別な資格は必要ですか。また、卒業後資格を取得できますか？

A. 区内在住、在勤、在学の方であれば、特に資格は必要ありません。

また、人生大学は「共育・協働の社会づくり」を基本理念としており、卒業時に何らかの資格を取得することを目的としていません。

Q. 通学できるか心配です。週に何回くらい通う必要がありますか？

A. 1年次は、専門科目、必修科目、選択科目があり、1回2時間の授業が1週間に2～3回あります。2年次は、専門科目の授業と社会活動体験、イベントの開催などがあり、やはり1週間に2～3回登校する場合があります。

Q. 授業以外に何か役割はありますか？

A. 次の5つの委員会があり、クラスの中で担当を選出します。

- ・運営委員：クラスの運営や事務局、他学科との調整などを担当します。
- ・情報紙編集委員：情報紙「ひと あい えどがわ」の発行を担当します。
- ・パソコンサポート委員：卒業生が運営するパソコンサポートの会への出席希望者の取りまとめを行います。
- ・大学祭実行委員：大学祭実施に向け、クラスの意見取りまとめと他学科との調整、大学祭の運営を行います。
- ・ホームページ管理人：人生大学のホームページにクラスの様子などを掲載します。

ち、アナタ也大歓迎!!「人生大学」

学してみたいけど、ちょっと不安が・・・

Q.江戸川まちづくり学科では何を学びますか？

A. 1年次には「えどがわの種探し」のため現場(地域)に出て、まちづくりへの関わり方を勉強します。南小岩の卒業生が経営している喫茶店、江戸川の自然を守っているビオトープ(野鳥や動植物の生態系を保護するための場所)、平井で伝統工芸を継承している染物屋さん、一之江の小松菜農家等々その都度問題を互いに提起して自分たちなりに解決策を研究して行きます。

教室では種探した事柄をグループで調査・研究を行い、成果を発表することによるグループワークの基本を勉強します。そして個人発表へと進展して行くのです。

2年次には卒業後のボランティア活動に結びつく企画の立案力、組織立ち上げのノウハウなど実践的な勉強をします。そして40時間の社会活動体験に入っていきます。

グループ活動のノウハウ(ワークショップ手法)、企画力(企画書の作成)、人前での話し方など今まで経験できなかったことを勉強できます。これによって自分自身で何をやりたいか、何ができるのかが解るのに近づいているのかも知れません。

Q.授業でよかったことは何ですか？

A. ファシリテーター*1、フィールドワーク*2、ワークショップ*3この今まで経験したことのない3つの手法を使って勉強できたことです。

種探しは全て興味深かったのですが、小松川に展開しているIT企業を訪問した時、障がい者の方が非常に明るい顔をして働いていたのが印象的でした。企業として成長することは必要ですが、働いている人たちの生活をいかにして改善するかが大切だと思い知らされました。「同じ場所にある元パン屋さんの跡地を効率よく活用するには」と課題をいただき、勉強したことが非常に良い経験になりました。

*1 話し合いの促進役、集団で問題解決していく場面での支援者のこと

*2 学習研究に活かすための現場調査のこと

*3 計画づくりなどにおいて、複数の人々が課題の整理や解決策などを検討する共同作業のこと

Q.日本語しか話せませんが国際コミュニティ学科に入れますか？

A. 何の問題もありません。多種の授業がありますが、すべて日本語です。学科長のジョージ・W・ギッシュ先生は完璧な日本語で、しかも興味つきない講義および指導をしてくれます。

Q.入学してよかったことは何ですか？

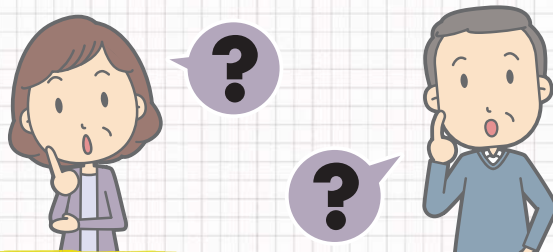
A. 自分の世界がいささか広がったことです。思いもかけない友人を得た仲間もたくさんいます。大切なことは、いろいろ比較をしてみなければ真実に近づけないという事実と直面したことです。

Q.コミュニティ学科の年齢層について

A. 40歳代から80歳代が学んでいます。年齢を越えて多くの仲間が時間を共有し、時を忘れて「学び」を楽しんでいます。

Q.どんな技能が身につきますか？

A. 技能よりも、今、私たちの立っている現実世界を自分の目で見、世界の声を聞くのが目的です。あらためて相互扶助、相互理解の精神を追いかけ、自己と他者、自国の文化と他国の文化、日本人と外国人とのちがいを等々、ともに考えながら学ぶのは何とすばらしいことでしょう!!Welcome皆さん!!



Q.子育て中なので子ども・子育て応援学科で勉強したいのですが？

A. 大学教授や臨床心理士の先生の授業、子育てを応援して活動している方達の話も聞け、とても参考になることがいっぱいです。育児が楽しくなると思います。もちろん、孫育てや子育てを応援したいと考えている方も勉強中です。

Q. 一番印象に残った授業は？

A. 赤ちゃんについての授業です。特に子どもの発達・反抗について、絵本・読み聞かせ、児童虐待に関する授業が印象的でした。

Q. クラスの雰囲気は？

A. 明るく、楽しく、まとまっています。若い人たちとかかわれて嬉しいことや皆さんとても熱心で、優しい人ばかりです。

Q. 身に付いたこと、わかったことは？

A. すべての授業が参考になりました。子どもに対して広い目で見られるようになった、会話を大切に子どもと同じ目線で接し、話を聞くことの大切さ、子どもは生まれた時から才能がある、自分の考えだけではだめだということがわかりました。また、区内に子どものためのボランティア団体、育成室、サポート教室、共育プラザなどたくさんの子育て支援の場があることを知りました。

Q. 現在、介護で悩んでいます。介護・福祉学科で何が学べますか？

A. 1年次は、高齢社会の介護に伴う基本的な対応方法、介護保険制度の概要や認知症の各種介護施設の状況等を学びます。

2年次は区内のボランティア団体の活動状況、イベント企画、社会活動体験などグループを中心とした授業です。

介護・福祉学科の授業は、介護福祉士やヘルパーの資格を取ることや介護の技術を取得することが目的ではなく、介護・福祉を通して地域のことを学び、課題を知り、また、老いを支えあう関係づくりを学びます。

Q. 授業でよかった事は何ですか？

A. 高齢者の社会福祉法人の入所施設やNPO法人などによる施設を実際に見学できたこと、さらには、介護される側の現状と介護する側のそれぞれの対処・対応の重要性を学べたことです。また、福祉ジャーナリストの村田幸子学科長を中心に、各分野の専門的な知識を持った先生方に加えて、全国各地の特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの経営者・責任者の方々の授業もあります。

2年間多士多彩な講師による授業はただ知識を得るだけではなく、卒業後の社会貢献のために地域に出ていくという実践の道筋・心構え等を学びます。



第10回 江戸川総合人生大学祭



「学ぼう、人の和、地域の和」 ～生かそう あなたのできること！～

日時：平成27年7月25日（土） 午前10時～午後4時

場所：タワーホール船堀 1階展示ホール&3階産業振興センター 【入場無料】

＊お気軽にご来場下さい！

人生大学のことごとがよくわかる



入学案内

人生大学の概要、募集要項、学科のカリキュラム／特徴等がわかります。

情報紙

人生大学の様子、在校生や卒業生の活躍、大学祭等を紹介しています。

ホームページ

イベントや公開講座の案内、授業風景等、人生大学に関することなら何でもわかります。



同窓会だより

卒業生の有志が運営する会で、その活躍の様子を紹介しています。



同窓会だより

江戸川総合人生大学同窓会
平成27年1月8日発行 第20号
<http://jinseidaisousai.web.fc2.com/>

1. 第8回総会報告
2. 講演会「海と生きる」～東日本大震災 被災地の記憶～
3. 開学10周年を祝う会
4. 同窓会会長就任の挨拶
5. 新役員のご紹介
6. イベント・情報

1. 第8回総会報告



平成26年10月28日(火)江戸川区総合文化センター研修室にて開催。出席者130名。
来賓：北野大学長、ジョージ・W・ギッシュ学科長
司会：金子律子(江5)、議長：福田昭生(国6)、書記：小泉美江子(国7)、幸田佳子(国8)
*第7期の活動報告・会計報告・監査報告(一括審議)：・・・拍手多数により可決。
繰越金の会計処理・滞納会員への対応について質疑が行われた。
→滞納対策に取り組んでおり、その進捗を見て今後の対策を考えていきたい。
*第8期役員及び会計監査選出・クラス幹事紹介(各クラス選出)：拍手多数により可決。
*第8期活動方針・予算案(一括審議)：・・・拍手多数により可決。
～ 詳細は「同窓会」ホームページをご覧ください ～

※入学案内、情報紙は区役所、各事務所、図書館、コミュニティ会館等にあります。
※同窓会だよりは人生大学ホームページの「同窓会」からご覧いただけます。

【10期生企画イベント】

参加型イベントを通し、人生大学を知ってもらう場として開催しました

江戸川まちづくり学科

まつりだ！全員集合

3月21日(土)子ども・大人の皆さまをハッピー姿で迎えするイベントを開催しました。

“祭り”を基本とした企画です。公式ルールに沿った輪投げ大会・楽しくお相撲ハッケーヨイ！・壁アートで遊ぼう！・ダメよダメダメだまされないでネ・お休み処でのおしゃべり時間の創出等。

外部参加の小松川警察署員の方のビデオとお話では、小さな子ども達の歓喜と応答で、会場は春爛漫笑顔で満ち溢れていました。壁アートでの空高く気球が浮かんでいる風景画は、来場者と主催者が共同制作したものです。

この様に参加型イベントは、共に考え共に完成の喜びを味わうことで、学習の成果を十分に得ることができたことが、学生の喜びと感じています。

最後は来場者、主催者心ひとつに【東北の灯を消さないで】をテーマに全員一輪の花を手に“花は咲く”の合唱で幕を降ろしました。

担当：岡部勝、中谷喜美子



壁アート、気球が浮かぶかな？

国際コミュニティ学科

多文化交流まつり

「多文化交流を楽しもう」を主目的に1月31日(土)に実施。日韓の伝統遊戯「お遊びコーナー」では外国・日本の大人と子どもたちが羽根つき、福笑い、トウホノリ(投壺)、チェギチャギ、ペーゴマ、けん玉等に挑戦し歓声をあげ、サリー、チマチョゴリ、雛人形の展示

前では熱心に説明を聞く姿が多数。外国の方との「おしゃべりカフェ」を設けたほか、二胡演奏と日本舞踊が会場の雰囲気盛り上げ、演歌舞蹈には外国人も参加、なごやかな空気に包まれました。

企画や準備は年末・正月休みを挟みましたが、クラス全員が一致協力。当日は約200名が来場、随所で賑やかな交流が広がり、今後の社会活動にも役立つ貴重な体験となりました。

担当：大西正子、塩谷浩



「おしゃべりカフェ」で談笑する外国人

子ども・子育て応援学科

あそびの もり

入学後、約1年半が経過し学習とボランティア活動を通して学んだ成果を発表する場として、2月14日(土)にイベントを開催しました。

テーマを『あそびの もり』とし、会場全体を森のような雰囲気に飾り付け、森のなかで遊んでいる気分を味わっていただけたよう工夫しました。どんぐりを使った置物作り、折込広告で小物入れや紙飛行機を作りました。自慢の紙飛行機は、飛行コンテストを行い大きな歓声が上がりました。また、ゲームコーナーではフェルトで作ったパズルやアフリカのゲームのマンカラで遊びました。

「身近なもので手作りの遊びを体験し、親子の絆を深める場」を目標に開催しましたが、私たち10期生にとっても、充実した一日でした。

担当：五十嵐英男、中村雪子



飛べ!! 遠くへ (飛行コンテスト)

介護・福祉学科

笑って楽しく生き生きと

3月7日(土)、冷たい雨が心配される中での開催でしたが、開場と共に次々と来場者があり、あたかも定刻前に開会したかのようでした。

「癒しのハンドケア」では早々に予定数に達する盛況ぶり。手のひらをケアしながら会話も盛り上がりしていました。「脳年齢を知ろう」ではチェックリストを使って脳年齢の診断。実年齢より若く診断された方にこやかな姿が印象的でした。「ステージで楽しもう」での音楽に合わせた健康体操、今話題の笑いヨガにも大勢の参加がありました。

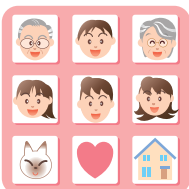
「お茶サロン・ぬり絵」ではなごやかに談笑する人、ぬり絵に熱中する人など。最後はみんなで「春の小川」と「ふるさと」を合唱し、熱気の余韻を残す中でのフィナーレで、暖かい雰囲気のイベントとなりました。

担当：嘉陽宗善、佐々木康次郎



大盛況のハンドケア

同窓会の窓



ある作家のエッセイを読んでいた「花^か實^{じつ}雙^{そう}美^び」という言葉がありました。読み下せば「花も実も双つ美^み」だそうです。「見映えばかりでなく、中身も美しくなければいけません。」という意味ですが、もうひとつ「実(お金もうけ)ばかりに気をとられてはいけません。花(人の情)にも気を配りましょう。」という戒めでもあるとか。

今年の春はなかなか暖かくならないと思っていましたが、桜の季節が終わったとたん、つつじや藤やはなみずきが一斉に咲き、目を楽しませてくれました。花の季節が終わってしま

うと、とかくどの木が何の花だったか忘れてしまいがちですが、木や草は来年や次の世代に向けて着実に実を結び種を残しているのですね。私達同窓会の活動も目立たない花で良いから、着実に地域に実を結び種を残せる活動でありたいと願っています。

同窓会会長 竹原 京美 (まち1期)

同窓会ホームページ <http://jinseidaidousou.web.fc2.com/>

人大ボラ連メールアドレス jindaiaboraren@yahoo.co.jp

編集後記

時の流れは速いもので、人生大学は、あと3か月で12期生を迎える時期となりました。10期・11期はそれだけ残りも少なくなってきましたが、7月25日(土)に予定されている大学祭への準備も着々と進められているところです。

本号では、12期生を迎えるに当たって、人生大学ではどのようなことを学びどのような活動をしているのかなどを、Q&A形式で特集してみました。10期生企画によるイベントの記事とあわせてお読みください。また、大学祭での展示やイベントなどを見学・体験していただければ、人生大学についてより深くご理解いただけるものと思います。

編集長 佐々木 康次郎(介護10期)

編集：「ひと あい えどがわ」編集委員

[10期生] 岡部勝、中谷喜美子(まち) 大西正子、塩谷浩(国際)
五十嵐英男、中村雪子(子ども)

嘉陽宗善、佐々木康次郎(介護)

[11期生] 加藤道雄、叶内元也(まち) 大宮信一郎、柳澤千夏(国際)
長倉尚子、山内康(子ども) 大野一雄、中村高興(介護)